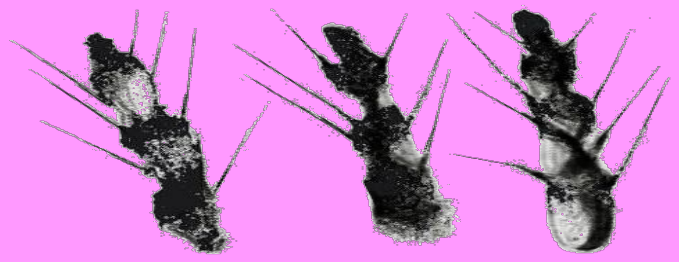


いおぎだより

令和５年１２月号　　杉並区立井荻小学校　　令和５年１１月３０日発行　No.６７７

子供たちの夢が、世界に通じた！

～井荻小の関わる「遅野井川親水施設」　環境省に認められる～

副校長　小瀧　隆雄

井荻小の特色　環境教育「川の学習」

平成 21 年度、学校内に川が流れる井荻小の６年生は、大きな夢を抱きました。

「学校の敷地内を流れる善福寺川を、昔のように生き物一杯の自然豊かな川に戻したい。」

それから本校では、きれいな川にするために、善福寺川について調べるだけでなく、川の清掃をするなど実際に動いて学んできました。

井荻小の過去を紐解くと、開校当時は休み時間になると善福寺川の土手を降りていき、川遊びを楽しんだそうです。チャイムが鳴ると、川から戻って授業を受けたのだとか。今では考えられない、ほのぼのとした情景が浮かびます。

先輩の思いを受け継いで、平成 26 年、当時の５，６年生が「みんなの夢水路設計図」を杉並区長に届けたことで、区の事業として「遅野井川親水施設」が誕生しました。井荻小の子供たちが、善福寺公園に行って、川遊びや生き物調べをする「遅野井川」は、先輩達が動いてできた施設なのです。

皆の「遅野井川」が「自然共生サイト」に認定！

この「遅野井川親水施設」が、この度、環境省による「自然共生サイト」に認定され表彰されました。表彰団体は、遅野井川の維持活動をしている「杉並区」と「遅野井川かっぱの会」の両団体ですが、発案者は井荻小の子供たちです。また、かっぱの会の命名は当時の４年生です。この会のメンバーは、日頃本校の環境教育を支えてくださっている地域の方々で、子供たちにも顔なじみの皆様です。

「主体的・対話的で深い学び」の井荻小

SDGｓの理念、取組にも合致する井荻小の特色ある環境教育は、子供たちの豊かな発想と真摯な願いから生まれてきました。まさに文科省の提唱する「主体的・対話的で深い学び」そのものなのです。世界に通じた先輩たちのこの「宝物（ゆめ）」を受け継ぎ大切にして、さらに発展させていきます。

コラム
「生物多様性条約」と「自然共生サイト」

国連は「生物多様性条約」により、世界的に生物の生態系、多様性を保全するため、世界目標を掲げました。これを受けて、日本でも環境省が、2030 年までに陸と海の 30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようという目標（30by30）を制定しました。

この目標達成のために、本年度スタートしたのが「自然共生サイト」の取組です。「自然共生サイト」とは、国が認定する「民間の取組等によって、生物多様性の保全が図られている区域」のことです。

令和５年度前期は、有識者審査を経て全国で 122 か所が認定され、認定区域は、「OECM」として国際データベースに登録されました。

＊読売新聞 11 月 28 日（火）26 面（地域）において、大きく報道されていますのでご覧ください。

12月行事予定

1	金	安全指導
2	土	土曜授業　薬物乱用防止教室（６年）
3	日	
4	月	委員会活動
5	火	保護者会（５・６年） ５時間授業（５・６年）Ｂ時程　ＳＣ
6	水	４時間授業　CS（学校運営協議会）
7	木	ユニセフ集会　保護者会（３・４年） ５時間授業（３・４年）Ｂ時程
8	金	保護者会（１・２年）　読書旬間終　ＳＣ
9	土	震災救援所訓練（地域） 土曜クラブ（井草囃子・囲碁）
10	日	
11	月	クラブ活動　ユニセフ募金始
12	火	５時間授業　避難訓練　ＳＣ
13	水	Ｂ時程
14	木	５時間授業
15	金	５時間授業　ユニセフ募金終
16	土	土曜クラブ（お箏・いけばな）
17	日	
18	月	実験・ものづくり教室（３年）
19	火	５時間授業　野鳥観察（３～６年）ＳＣ
20	水	読み聞かせ
21	木	給食終　５時間授業
22	金	４時間授業
23	土	終業式　大掃除
24	日	冬季休業日始
25	月	振替休業日
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

12月の生活目標
「ものを大切にしましょう」

生活指導部　　松本　陸

「鉛筆をなくしてしまいました。」「消しゴムがありません。」「ここに入れてたと思うんだけど…。」

このような声を校内でよく聞きます。気を付けて生活していても、少しの不注意で物をなくしてしまうことがあります。広い校内、大勢の人が生活する学校では仕方のないことなのかもしれません。

そんな時、持ち物に名前が書いてあるとしっかりと持ち主に返すことができます。すぐに返すことができれば先生たちも安心しますし、同じものをできるだけながく使い続けることは、物を大切に使うことにもなります。

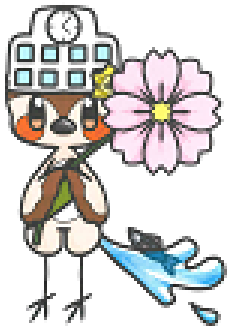
生活指導部では落とし物を取りまとめています。その中には上着や手袋、ズボンなどの洋服も含まれています。冬にかけて身につけるものが増え、落とし物が増えているのでしょう。ですが、そのなかにはお気に入りのものがあるかもしれませんし、思い出の深いものもあるかもしれません。物を大切にするということは、思い出を大切にすることにもつながります。

２学期の終わり、これからたくさんの物を持ち帰ります。学校での思い出話とともに、補充・記名の点検もお願いします。学校生活を気持ちよく送るためにも、自分の物もみんなの物も大切に使えるようになってほしいと思います。

学校運営協議会（CS）は、原則公開制となっています。ただし議題の内容により、一部のみ公開とする場合もございますので、傍聴をご希望の場合は事前に傍聴希望の旨をお知らせください。（13：00～）

副校長　小瀧　【３３９０-３１４１】

マスコットキャラクター
イオギン



スクールカウンセラー来校日…SC
学校運営協議会…CS